

YK20067

適合灯具 YA72970
YA72971
YA72972

・器具の取付けには電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

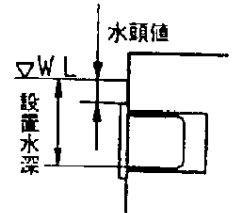
工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

△警告

- 施工は、取扱説明書にしたがい確実に行ってください。施工に不備があると、感電・漏水の原因となります。ただし、施工は防水処理が重要になりますので、プールを施工される建築工事業者様と十分相談してから行ってください。
- 電気設備技術基準にしたがい、必ず特別第三種接地工事をしてください。接地が不完全な場合、感電の原因となります。万一の漏電時に備えて必ず電源側に漏電遮断器を設けてください。
- この器具は真水・一般水専用です。それ以外での使用は腐食による感電・漏水・灯具損傷の原因となります。
- ・設置場所と条件は下表に従ってください。

設置場所	水質*	水温	最大設置水深	水頭値	最小水槽容積
プール	一般水道水	45℃以下	水深5m以下	15cm以上	0.2m ³ 以上
噴水	工業用水			5cm以上	-----
池	自然水				
川					



※プールの残留塩素濃度などは、厚生省の水質基準に準じて管理してください。

残留塩素濃度が異常に高くなりますと、灯具及び埋込ボックスが腐食・劣化・変色します。

- 電源ケーブル引込み用配管（薄鋼電線管25Eが適合）と、電源ケーブル貫通部分は必ず確実にコーキング処置を施してください。

コーキングが不完全な場合、プールの漏水及び配管内への浸水、腐食の原因となります。

- ・コーキング剤はプールの材料に対して接着性が良く、金属に対する腐食性のないもので高粘度で流動性の低いコーキング剤をご用意ください。

市販コーキング剤の例

- ・コニシボンド製 水中ボンドE380（エポキシ樹脂）
- ・信越化学工業製 プライマーMT（前処理剤）＋RTVゴム・KE45（コーキング剤）
- ・東芝シリコン製 ME121（前処理剤）＋TSE392（コーキング剤）

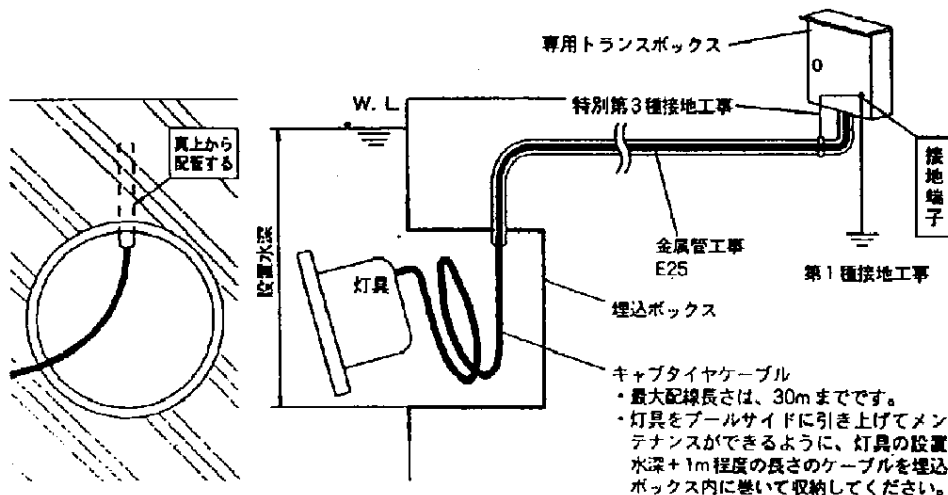
- 必ず下記の電源ケーブルを使用してください。適合以外のケーブルは浸水による漏電の原因となります。

適合キャブタイヤケーブルの種類	断面積	線心数	仕上外径
2PNCT（2種EPゴム絶縁クロロブレンキャブタイヤケーブル）	2mm ²	3心	Φ11.5
2RNCT（2種天然ゴム絶縁クロロブレンキャブタイヤケーブル）	2mm ²	3心	Φ13.0

- 器具を改造しないでください。感電の原因となります。

△注意

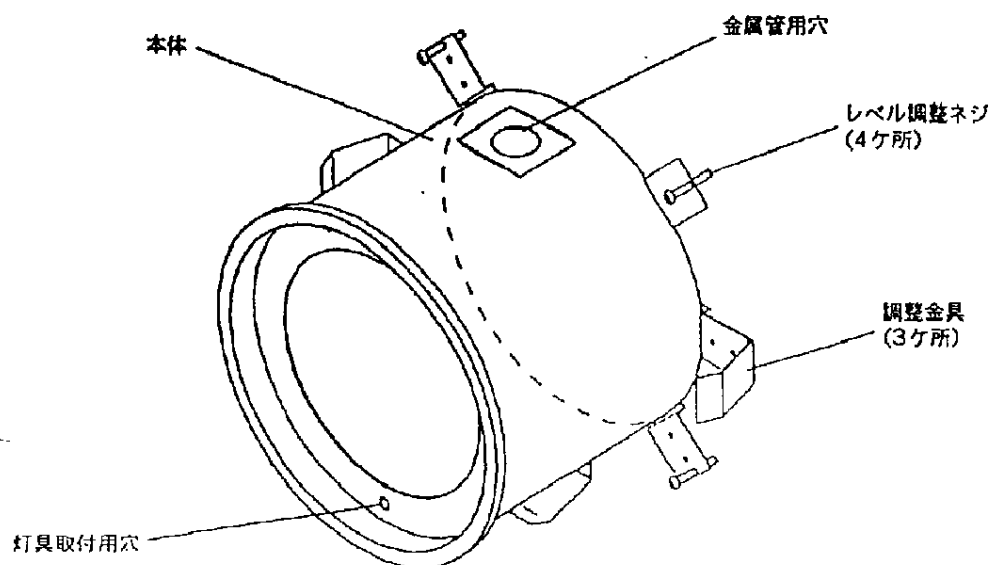
- この器具は水中照明器具用埋込ボックスです。水中以外での使用はケーブル劣化による感電の原因となります。
- 電気配線工事は、電気設備技術基準の第247条『プール用水中照明燈等の施設』、内線規定640節『水中照明燈等の施設』に従って行ってください。



各部のなまえと取付けかた

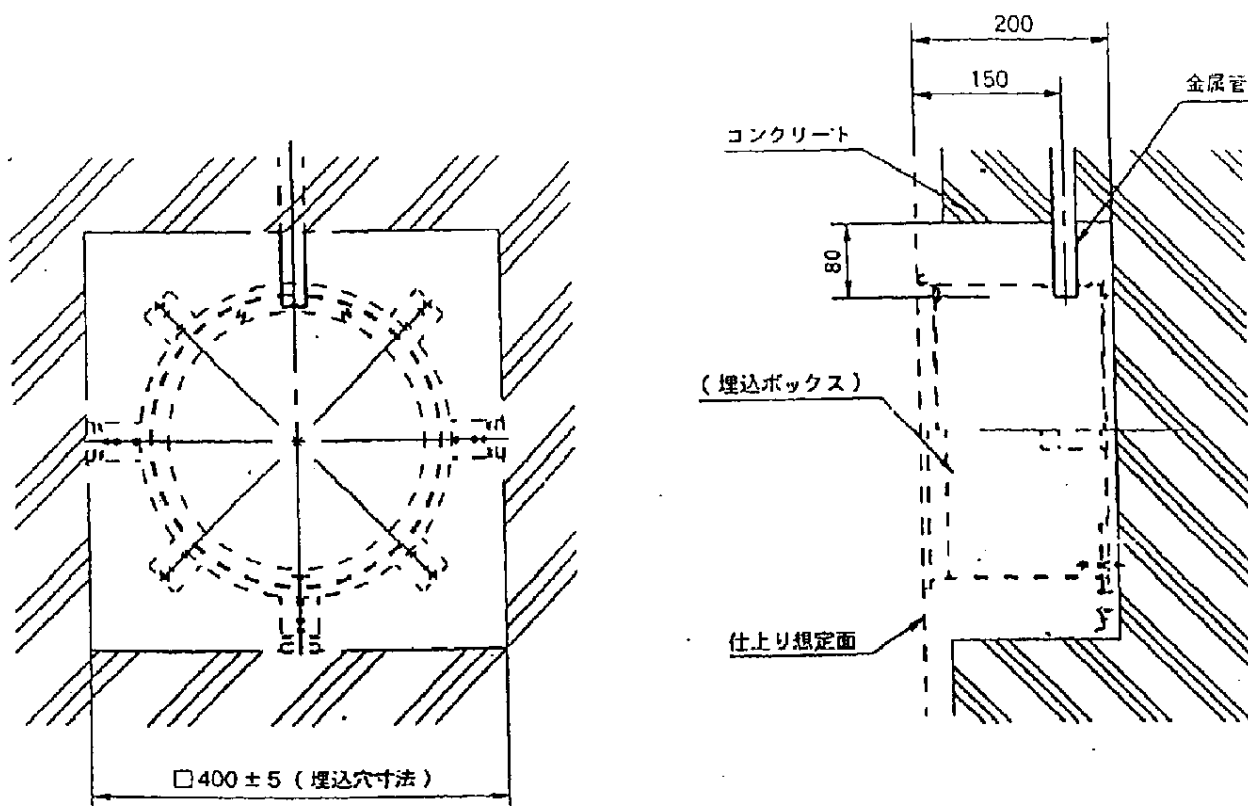
△警告

●施工は、取扱説明書にしたがい確実に行ってください。
施工に不備があると、感電・漏水の原因となります。



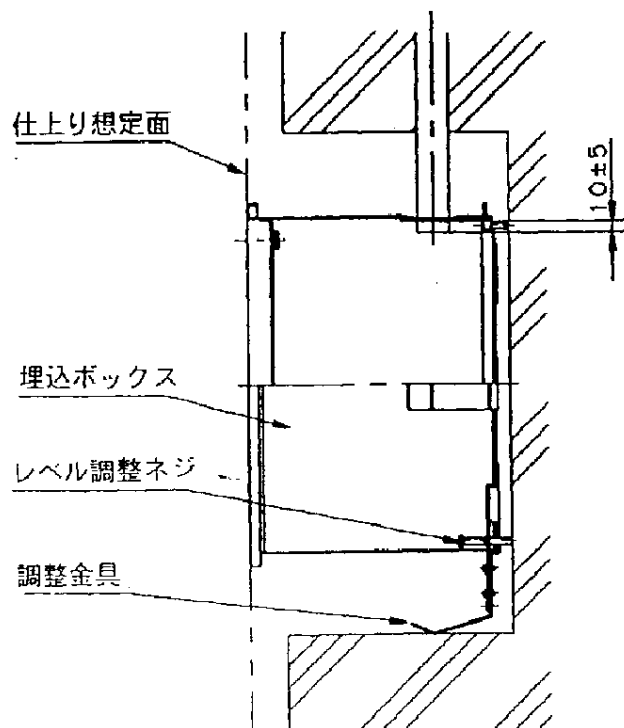
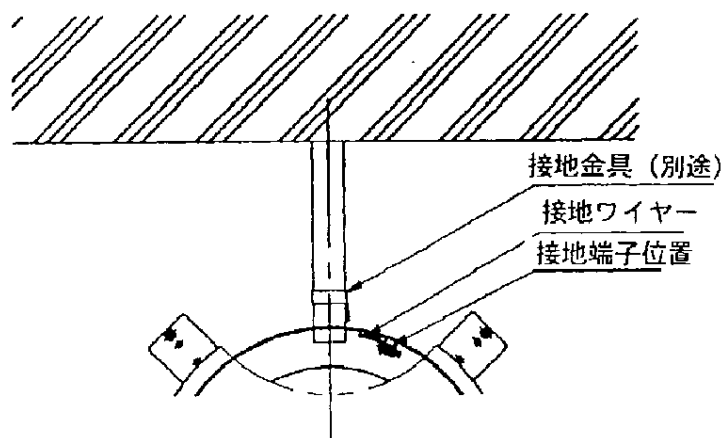
1 埋込穴をつくる

- ・コンクリート打設前に金属管を配管する。
壁面に設置する場合、必ず真上から配管してください。
感電の原因となります。



2 埋込ボックスを取付ける

- ・ 接地用ワイヤーを金属管にクランプする。(接地金具；別途)
接地が不完全な場合、感電の原因となります。
- ・ 本体下側の調整金具を手で曲げて金属管の本体側内側への露出部分寸法を $10 \pm 5\text{mm}$ に調整する。
露出長さが長すぎると灯具が取付けできません。
- ・ レベル調整ネジで仕上り想定面に合わせる。

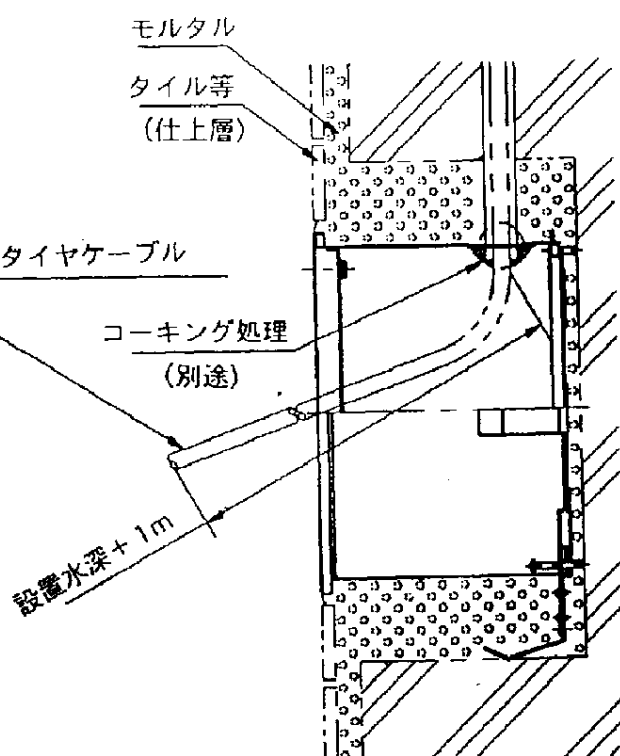


3 壁面を仕上げる

- ・ モルタルを十分詰込む。
- ・ タイル等仕上層を完成させる。

4 電源ケーブルを金属管に通す。

- ・ 電源ケーブルを金属管に通し、必要長さ (設置水深 + 1m 程度) を確保する。
電源ケーブルの出代が短い場合、水上での保守点検ができません。



5 コーキング処理を施す。

- ・ コーキング剤を用いて、金属管の出代部分及び電源ケーブル貫通部全体をコーキングする。

※ 灯具の取付けは、灯具に同梱の取扱説明書にしたがい確実に行ってください。

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠警告

- 器具を改造しないでください。感電・漏水・浸水の原因となります。
- 異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店・電気工事店にご相談ください。
感電の原因となります。

⚠注意

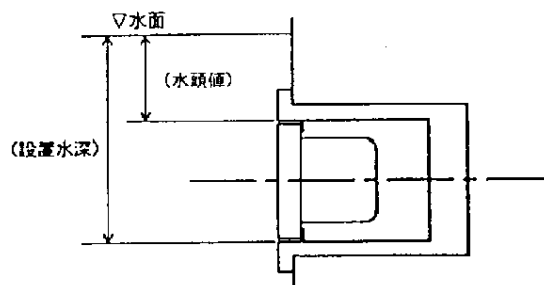
- 水温 45℃を越える水中では使用しないでください。ケーブル劣化による感電の原因となります。
- 交換用ランプは必ず指定のランプを使用してください。
適合外ランプの使用は感電・火災の原因となります。
- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切り、器具が十分冷えてから行ってください。
感電・やけどの原因となります。
- 3～5年に一回は、電気工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換してください。
(※1) 寿命末期には、火災の原因となることがあります。

※1 使用条件、使用環境で異なりますが、一般に照明器具の寿命の目安は10年です。

お客様へのお願い

- この器具は水中専用器具です。点灯の際には、器具が完全に水没している事を確認してください。

- ・水頭値 15cm 以上
(川の場合 5cm 以上)
- ・最大設置水深 5m 以下



お手入れ・ランプ交換 ⚠注意 (必ず電源を切って行ってください。感電の原因となります。)

- お手入れについて・・・水中では表面に藻・貝殻などが付着することがありますので、定期的に清掃・保守点検を行うことをお勧めいたします。
- ランプ交換について・・・灯具のランプを交換する際は、灯具の本体表示にしたがって、必ず指定のランプを使用してください。(ナショナルランプをご使用ください。)